

有村総合建設株式会社



本社庭園

＜主な業務内容＞
造園・遊具・土木・
スポーツ施設工事
＜KES 登録日＞
2013 年 11 月



代表取締役 有村様

今回お邪魔したのは、今年から KES を始められた鹿児島市吉野にある有村総合建設株式会社です。

有村総合建設は、創業が 1907 年で 100 年以上も造園業を続けている会社です。現在では造園業と共に公園や広場にある遊具の設置・安全点検も行う等、幅広い分野で事業展開をしています。

長年、築かれた歴史の中で KES を始められたきっかけや、実践してどういった良さを実感されているかをお聞きしました。

きっかけ

会社を訪問した時に、まず目を引いたのは周囲に緑が多く日当たりがとても良いということでした。

「シラスが多い鹿児島で吉野地区は、黒土が多く野菜・園芸をする場所には適しています。」という有村様の言葉で更に、吉野が持っている自然の豊かさを感じました。

社内には数々の表彰状が飾られていて、その中に年代を感じる新聞記事も飾られていました。新聞では有村総合建設が長年、先祖代々受け継がれ、時代に先駆けた事業を展開している会社であることを紹介していました。現在の代表取締役は 4 代目になるそうです。



表彰状

KES を導入したきっかけは「造園業は生き物を扱う仕事なので、積極的に環境と自然の共生に努めることが大切」と企業の社会的責任の重要性を感じたからということでした。

用途に応じた芝商品

最近、県内外で話題になっている鹿児島市電軌道敷緑化の改良芝生を納入され、緑化の芝には、緑色保持期間が長い「ピクトール」を使用しています。この芝のおかげで、鹿児島市の中心を通る市電軌道敷の景観が、きれいに保たれていることを知ることが出来ました。

また芝の中で、鹿児島県の公共施設をはじめとした多くの場所で使用している「エルトロ」があります。擦り切れに強く、横への生長が速いため管理コストの軽減もはかれるといった特長があるそうです。

用途に応じた芝を使用することで、余計な薬品や機械の燃料等を使わないため環境にも優しく、そして管理もしやすく一石二鳥になるとのことでした。



鹿児島市電軌道敷



エルトロ

今後の活動への思い

KESを導入して、初めて知ることが多かったそうです。例として事業で使用する薬品の管理や廃棄物の分別と処理方法等を挙げられました。廃棄物の分別を学んだ通り実施することで、経費削減にもつながるとのことでした。基本をしっかりとすることが、環境経営・事業発展には、大切であると思いました。

有村総合建設で扱われている、グリーン購入認定商品で発酵下水污泥コンポストの「タテヤマユーキ1号」があります。この様な環境に配慮した商品販売の促進に KES システムを用いて展開していきたいとのことでした。



タテヤマユーキ1号

「本当は、もう少し早くから環境に取り組みたかった。」と有村様。造園業で鹿児島県唯一の KES 登録事業所として、環境経営の第一歩を踏み出しました。実践を積み上げ、鹿児島県造園事業協同組合の同業者にも紹介していきたいと力強い言葉を頂きました。

今後、更なるご活躍を期待しています。

貴重なお時間に取材へのご協力いただき、本当にありがとうございました。